



映像の奇蹟となるか。

夜叉池

主演＝坂東 玉三郎^(二役)

加藤 剛

山崎 努

原作＝泉 鏡花

〈講談社文庫刊〉

脚本＝田村 孟

三村 晴彦

監督＝篠田 正浩

愛を描くか—幻の果てに美を追うか—

夜叉ヶ池

原作 泉鏡花(講談社文庫・刊)・監督 篠田正浩

ビスタビジョン・4CHステレオ

松竹超大作

◆スタッフ
製作 杉崎重男
原作 富沢幸治
脚本 中川完治
本村晴彦
撮影 小杉正雄
美術 坂本典隆
音楽 横山朝倉豊
特殊美術 矢島信男
特殊撮影 矢島信男

◆キャスト
百合 坂東玉三郎
白雪姫 坂東玉三郎
萩原晃 加藤剛
山沢学 山崎努
万年姥 丹阿弥谷津子
鯉七 井川比佐志
蟹五郎 常田富士男
十三塚の骨 阿藤海
影法師 浜村純
鰻入 三木のり平
与十郎 小林初男
村の女 小杉トシ江
鹿見宅膳 南原宏治
権藤管八 安部宏治
斎田初雄 矢崎徹
畑上嘉伝 次金井大
伝吉 唐十郎
穴隈 龍之介

。映画・演劇・テレビをはじめ、広く日本の芸能界に新鮮な企画を求め、観客のニーズに応える作品をプロデュースしてきた松竹が、ここに又、画期的な映画を世に贈ります。

歌舞伎界は勿論、広く若い世代に熱狂的な人気の坂東玉三郎をヒロインとする映画「夜叉ヶ池」が、長い準備期間を経て、いよいよ実現しました。

その舞台での、あてやかな美貌と天稟の演技力は、歌舞伎から新劇に及ぶ巾広い芸能活動の中で実証されており、女優としての可能性は映画界にとっても垂涎のマトでした。女優・玉三郎のスクリーン登場は、まさにひとつの事件と言えるでしょう。

演出は、「心中天網島」「はなれ瞽女おりん」と天賦の才能と抜群の表現力で独自の映像世界を作りあげてきた篠田正浩監督。〃玉三郎を映画女優として起用すること。それが篠田美学の宿願である、という発言通り、綿密な演出プランと旺盛なエネルギーでこの作品にとり組みました。

「夜叉ヶ池」は幻想と伝説の世界を描く、泉鏡花の戯曲を田村孟、三村晴彦がシナリオ化したもの。

お話は越前・三国獄の山中に竜神を封じ込めたという夜叉ヶ池、山麓の鐘を日に三度つかなければ再

び竜神は暴れだし、村は大洪水にみまわれると言い伝えられている。その鐘楼を守って愛の暮しをつましく営む夫婦の平和な日々が、ある日破られた——そして幻想と怪奇がおりなす“妖美、の世界がひらく……。

ヒロイン・坂東玉三郎は鐘つきの妻・百合と竜の化身・白雪姫の二役を演じます。相手役の萩原晃には「五瓣の椿」「砂の器」などの主演で、映画界きつての演技派と折り紙つきの加藤剛、晃の友人の学円には「八つ墓村」をはじめとする迫力ある演技が観客を唸らせた山崎努、加えて、三木のり平、丹阿弥谷津子、唐十郎、金田龍之介、井川比佐志など豪華最高の共演者を迎えました。

また、撮影は「乾いた花」「暗殺」などで篠田監督とコンビを組んだ小杉正雄と、流麗なカメラワークを誇る坂本典隆が二台のパナビジョン・カメラで同時シュートしました。美術は「心中天網島」の粟津潔と舞台美術家・朝倉摂が担当、音楽はシンセサイザーを駆使して「惑星」「月の光」を編曲、世界的脚光を浴びる富田勲が参加するなど、現代日本映画の最高峰の技術陣を結集したスタッフ編成です。なお振付は竹邑類、題字は勅使河原蒼風。



※10月20日全ロードショー ■特別鑑賞券¥1000・前売中

どうとん ぼり 大阪松竹座 (211) 1612

うめしん 東映会館 梅田東映パラス (345) 7196

新京極 三条下る 京都松竹座 (221) 0573

神戸大丸 東側 神戸朝日会館 (331) 6361